

月例会による顔の見える関係構築 ICT活用による情報共有促進

壬生町の取り組み
多職種が集う月例会「みぶの会」
医療介護専用SNS「どこでも連絡帳」

一般社団法人 栃木県医師会 常任理事

長島公之

公益社団法人 栃木県看護協会 とちぎ訪問看護ステーションおやま 所長

永井恵子

公益社団法人 栃木県看護協会 とちぎ訪問看護ステーションみぶ 所長

藤田みかる

多職種が集う月例会による 「顔の見える関係」構築 平成19年～

みぶの会



ICTによる医介連携で 情報共有促進 平成26年～

どこでも連絡帳



ICT活用による情報共有促進の実際

MedicalCareNet 設定 ホーム

医療者へ送信します。

ファイル リクエスト 送信

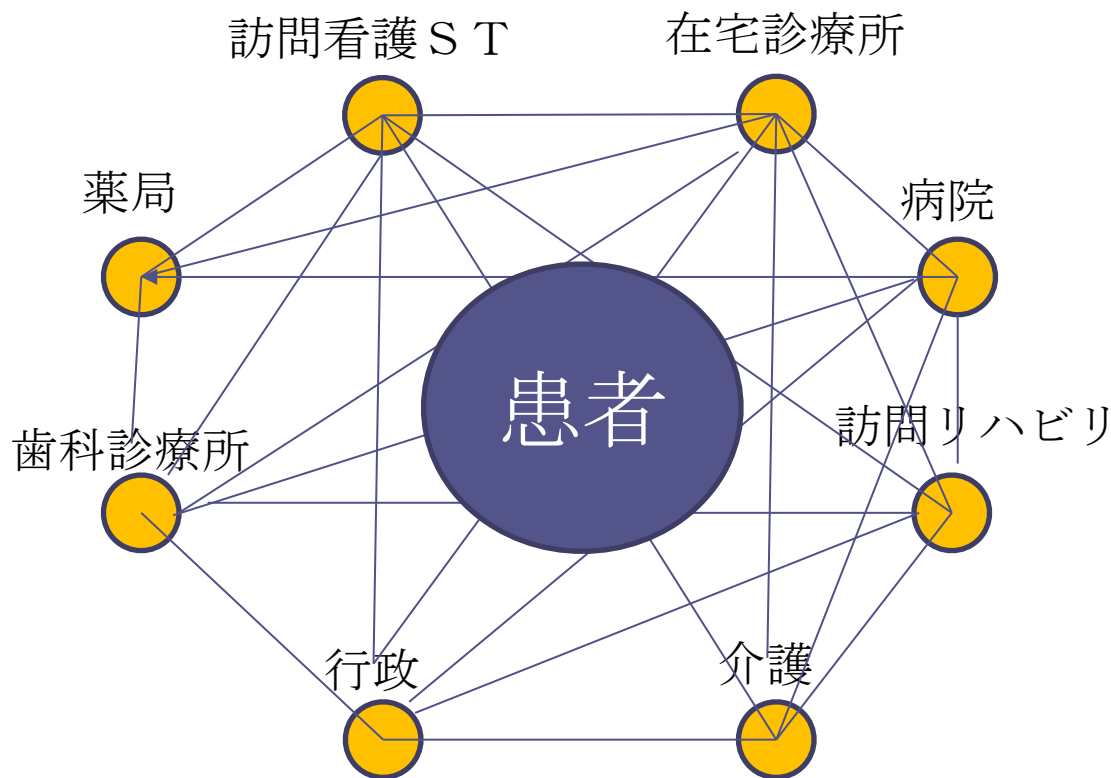
 **下野 太郎**
医師
8月29日 午後2時36分 OK 4人 取消
報告ありがとうございます。XXさん宅に連絡します。必要があれば往診して、処方等を行うことにします。結果はここに書きます。

 **栃木 花子**
看護師
8月29日 午後1時21分 OK 4人 取消
今朝看護ステーションに38・6℃の熱があると電話あり訪問しました。
体温38・4℃、脈拍120、酸素94、血圧120/74。痰は少量。
口腔内汚染著明。口臭強し。

 **下野 太郎**
医師
8月20日 午後11時6分 OK 6人 取消
胸部X線です。



医介（在宅医療・介護の多職種）連携



電話・FAX・面会
1対1
→他には伝わらない

同じ時間・同じ場所
に集まる
→困難

所属（場所）・時間がバラバラ、多忙
→情報共有が困難 → ICTで解決

ICT活用の研究会の設置

- ・ 栃木県からの委託事業
- ・ 栃木県医師会の内部に設置
「医介連携ネットワークシステム構築研究会」

メンバー

県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、
とちぎ訪問看護ステーション協議会、県病院協会、
県地域包括・在宅介護支援センター協議会、
県老人保健施設協会、とちぎケアマネジャー協会、
とちまるネット協議会、栃木県

【1】医介連携ネットワークの条件

- 1) 操作がきわめて簡単（マニュアル不要）
- 2) できるだけ低コスト（導入費・維持費）
- 3) セキュリティがしっかりしている
- 4) 写真やファイルも共有できる
- 5) 特定の機器・アプリに依存しない
- 6) 他の（既存の）アプリと連携できる
- 7) 実績がある
- 8) 災害に強い

完全非公開型 医療介護専用SNS

MedicalCareStation

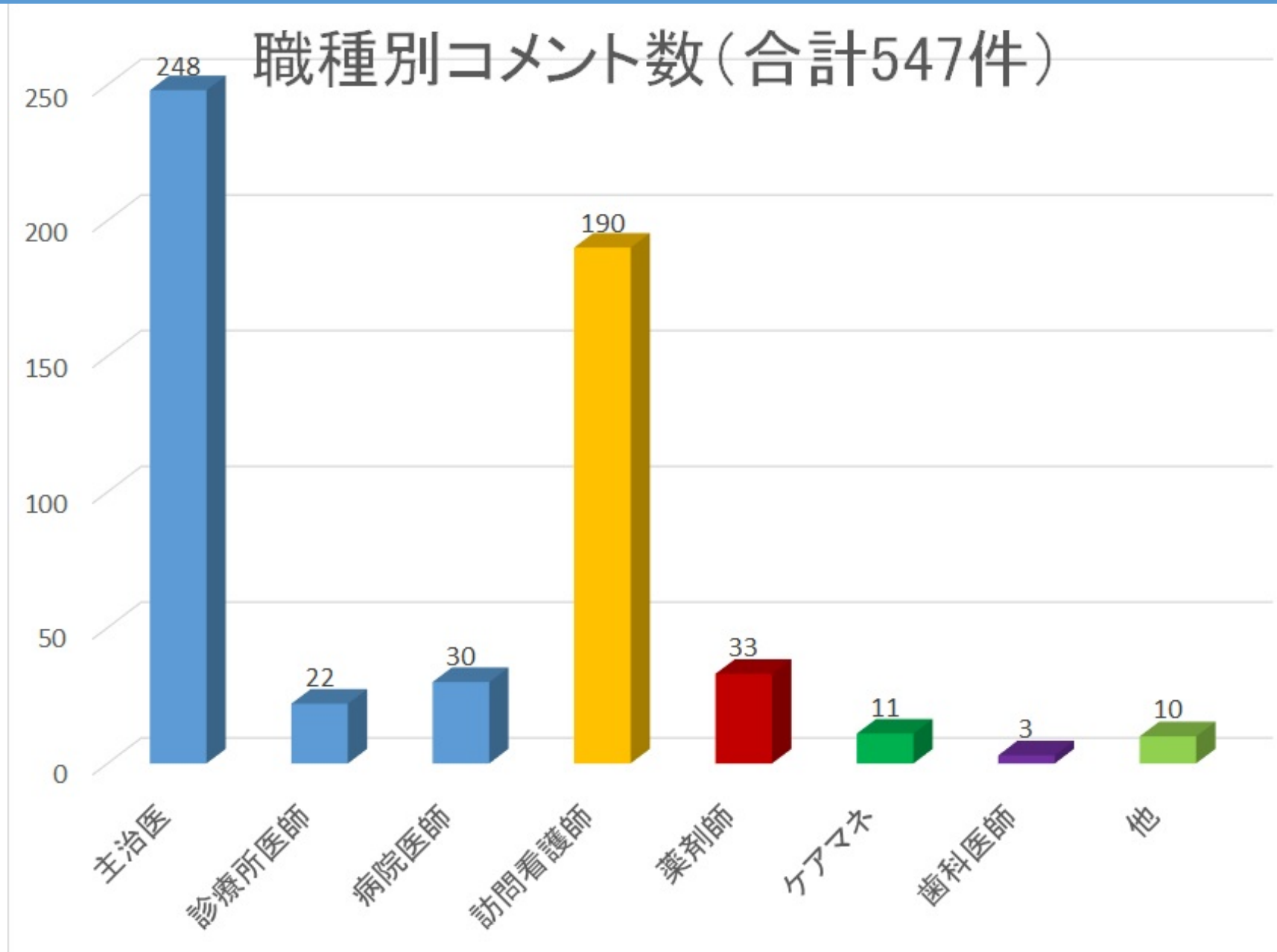
メディカルケアステーション

- 1) 操作：SNS LINEより簡単
- 2) 導入費・維持費：**無料 0円**
- 3) セキュリティ：招待・承認制、暗号化、三省GL準拠
- 4) 写真・動画・ファイルの添付が簡単
- 5) パソコン・タブレット端末・スマホで、特別なアプリ不要
- 6) 他のアプリ・システムとの連携を前提に開発
- 7) 豊島区医師会での利用実績
- 8) 停電でも使える、データが栃木県以外のサーバーに

- 【2】 「メディカルケアステーション」 を選択
 - 【3】 栃木県では「どこでも連絡帳」と命名
 - 【4】 平成26年4月からモデル地区（壬生町）にて実証実験を行う
- ・ 「みぶの会」で説明会・報告会
 - ・ 訪問看護ステーションみぶ iPad 4台貸与

壬生町での実績（3ヶ月間、26名の在宅患者）

職種別コメント数（合計547件）



訪問看護師の評価

- 自分の都合の良い時間に、読み書きできる
- 主治医や多職種と気軽に連携が取れる
- 情報が確実に把握できる（文字、再確認）
- 医師からの検査データや画像が早く見られる
- スタッフ同士で、利用者の状態が共有できる
申し送りの時間を省く事ができる
- 訪問診療時の利用者、家族の状態や様子がわかる
- メールとは違い、送り先を間違える心配がない

学習機能

- 他の職種、同じ職種から学ぶ
- 臨床実習
- 毎日カンファレンス
- 顔を合わせての
勉強会、講演会と併用

連携グループ：「みぶの会」

MedicalCareNet



設定 ▾



ホーム

連携グループ：みぶの会



60名

医師（病院・診療所）、歯科医師、薬剤師、看護師（訪問看護ST、病院地域連携部門）、ケアマネージャー、行政など

多職種の交流・情報交換の場の作成

他の連絡方法と併用（使い分け）

- ・ 急ぐときは電話で
- ・ 書類が必要なら紙で
- ・ デリケートな内容は対面で

第2回研究会（平成26年8月5日）

- 1) 実証実験結果報告→高い評価
緊密・迅速・安全・安価な情報共有
- 2) 県統一システムの条件を満たす
 - ・自由度が高い(各施設・地域にあった使い方)
 - ・県内多職種の交流・情報交換・伝達に使える
- 3) 県統一システムに決定→県内の普及促進



<http://dokoren.jp/>

ホーム 「どこでも連絡帳」について 各種様式 お問い合わせ

栃木県統一 医介連携ネットワークシステム

どこでも連絡帳

在宅医療における多職種の情報共有を、緊密・迅速・安全に行うためのシステムです。

在宅＊医療
MOTTO ZAITAKU IRYO

使い方

<https://www.medical-care.net/>

MedicalCareStation 完全非公開型 医療介護専用SNS メディカルケアステーション MCSサミット2014開催!

ログイン

ログイン

MCSとは | 利用方法 | 始め方 | 事例紹介 | 無料の理由 | アプリ体験 | FAQ | お問い合わせ

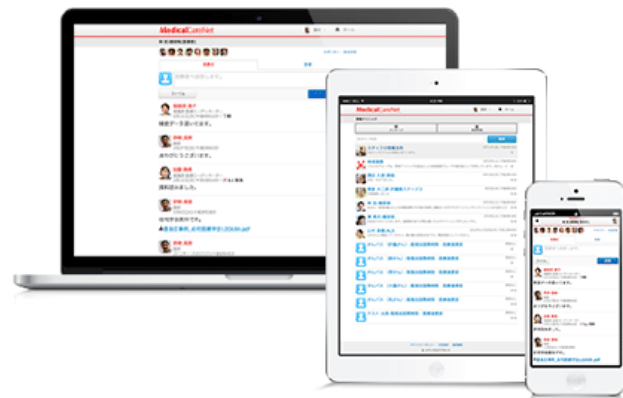
完全非公開型 医療介護専用SNS

メディカルケアステーションが、
理想の医療・介護を実現します。

登録

無料でご利用いただけます!

すでにIDをお持ちの方はログインへ



パソコン・スマホ
タブレット端末

メールアドレスと
パスワードでログイン
します。

MedicalCareNet

hanako@test.com

パスワード

ログイン状態を保存
パスワードを忘れた

ログイン

[プライバシーポリシー](#) | [利用規約](#) | [運営機関](#)

© メディカルケアネット

参加が許可された患者リスト

MedicalCareNet

設定 ホーム

長島整形外科

メッセージ 患者管理

患者名で検索 検索

スタッフの情報共有 2013年12月5日(木) 午後5時2分

連携グループ 受信なし

神経線維腫症1型(医院) 2分前
了解。終末期医療・介護について... されました。

脳出血後遺症(医院) 7分前
お世話になっております。訪問診療ありがとうございます。今日訪問です。今週10日より訪問RHも始まります。プ...

:糖尿病、糖尿病性低活動性神経因性膀胱、高血圧症(医院) 17分前
4月8日訪問。... が訪問していました。我々... 看護師2名です。難聴、糖尿、高血...

癌、認知症(医院) 22分前
ご返信ありがとうございます。現在、ステーションにある...

:心不全、脳梗塞後遺症(医院) 25分前
4月6日訪問。... 電話をされました。元気になって車椅子で外に出る準備中です。

脳梗塞後遺症(医院) 約3時間前
私の訪問時にモ... 電話があり次回往診時のエコーの件は聞きました。

栃木県壬生町MCS登録用グループ() 約21時間前
... の登録がまだでしたら、... 登録しますので、メールアドレスを教えてください。

:筋萎縮性側索硬化症(医院) 約23時間前
訪問日です。トイレ等の後呼吸が苦しいとのこと。呼吸機能が徐々に落ちている様です。

● 未読の書き込み

リストの並び
書き込みが新しい順

- 2分前
- 25分前
- 21時間前
- 8月3日午前7時23分
- 8月1日午後7時5分



MedicalCareNet

:心不全、脳梗塞後遺症() 医院)

患者氏名 病気 (医療機関)



参加している多職種 顔写真一覧



前原 操

医師

4月10日(木) 午後5時26分

患者さんご本人は良くなっ

記入者
の顔写真

氏名
職種

記入時刻

書く



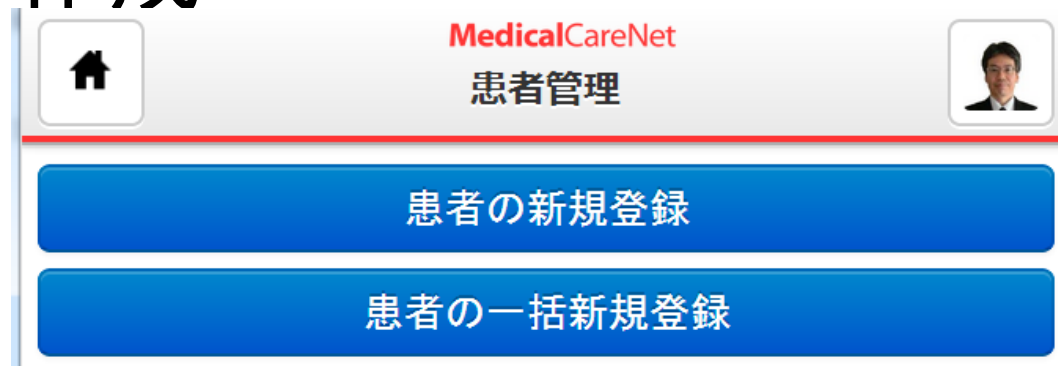
入力欄に
書く

ファイル

ファイルを添付する
先にファイルを選んで
後で文章を入力

①各患者の連絡帳（タイムライン）を作る

- ・ 主治医が作成



一人ずつ
登録

レセコン、電子カルテの
患者データを使って
一括登録

②連絡帳へ多職種を招待する

各患者の連絡帳ごとに、関わる人を招待



メールで招待

招待時の「合言葉」を設定し、本人に伝えておく

MedicalCareNet
サポーター招待
メールで招待 関係者から招待
患者氏名 : 脳出血後遺症(二二) 医院(医療者)の医療者コミュニケーションにサポーターを招待できます。
メールアドレス
タイプ
医療者
パスフレーズ
ハイフン(-)抜きでご記入ください
パスフレーズは招待された方が認証する際に必要となります。 招待する方の携帯番号などを記入し、その番号で招待した旨を本人へお伝えください。
△ ご注意

一度つながった人は関係者のリストから

タイプで「医療者」「患者」を選択

患者・家族参加 別立ての連絡帳

医療介護関係者のみ参加可能

患者・家族の参加の可能（任意利用）

MedicalCareNet
隅田 久恵:肺癌(医療者)

医療者 患者

医療者へ送信します。

ファイル 送信

嵯峨崎 泰子
看護師 医療コーディネーター
5月25日(土) 午後6時45分 了解!
今日の褥瘡の画像を添付します。



野崎 英樹
医師
5月25日(土) 午後6時36分
【訪問診療の結果です】

S) 5月20日に転倒しましたが、CTでは外傷なしとの報告あり。
O) 120/71、72bpm、36.8°C、95%
A) 血圧ちょっと高め
P) 内服継続

嵯峨崎 泰子
看護師 医療コーディネーター
5月16日(木) 午後4時31分 1人 取消
不安を解消できるようフォローしてみます。

嵯峨崎 泰子

MedicalCareNet
隅田 久恵:肺癌(患者側)

医療者 患者

患者へ送信します。

ファイル 送信

野崎 英樹
医師
5月17日(金) 午後9時44分

その通りです。肺に水がたまっている状態です。説明時に使用した診断書を添付します。せきについてはあまり激しいようでしたらその時に緊急連絡のお電話ください。

↓テスト太郎_診断書_2013-05-16.pdf

隅田 久恵
5月17日(金) 午後9時43分 1人 取消

「医師より心臓に水がたまっています」と説明を受けたと母から聞きました。肺の間違いではないでしょうか。なお、最近夜中のせきこみが少しあるようです。

嵯峨崎 泰子
看護師 医療コーディネーター
2月9日(土) 午後6時24分 2人 取消

先日の酸素の使い方分からないことがあったら聞いてくださいね。

(図はMedicalCareStaitonのサイトより)

病病・病診連携ネットワークとは連携の内容・質が異なる

	医療機関同士の連携 (病病・病診)	医介連携 (在宅医療)
共有者	医師－医師	多職種・多施設
内容	電子カルテに既存 医療（パターンの）	連携用に新規作成 生活・思い（様々）
量	大量（画像、過去）	少量
方向性	一方向性：閲覧	双方向性：やりとり
利用場所	医療機関に固定	多施設・患者宅
頻度	たまに	頻繁
情報 発信者	医師	医師以外の職種、 患者・家族



病病・病診連携ネットワークとつながる

医療機関の連携

医療・介護の連携

主治医

とちまるネット

ID-Link,
HumanBridge

どこでも連絡帳

Medical Care Station

橋渡し・通訳



地域包括ケアシステムの情報基盤

- どこでも
- いつでも
- だれでも
(条件付き)

垣根を越えて

つかえる→つながる

月例会「みぶの会」で顔の見える関係構築



公益社団法人栃木県看護協会
とちぎ訪問看護ステーションおやま所長
永井 恵子

とちぎ訪問看護ステーションみぶ



壬生町「在宅療養支援者の会」とは

・H19年 壬生町に於ける在宅療養関係者の連携、質の向上をめざし、これにより在宅療養者、家族のよきよき在宅療養生活の実現を図るため発足。

発起人： 在宅支援診療所の9名の医師
とちぎ訪問看護ステーションみぶ

開催場所： 当ステーション

日時： 2~3ヶ月に1回 19時から21時

内容： ケースカンファレンス
大学病院との連携について
医療処置、機器の研修会 など

壬生町の在宅療養支援診療所と訪問看護

とちぎ訪問看護ステーションみぶ

在宅療養支援診療所

- ① 在支診(循環器)
- ② 在支診(放射線)
- ③ 在支診(呼吸器)
- ④ 在支診(消化器)
- ⑤ 在支診(一般内科)
- ⑥ 在支診(有床、消化器)
- ⑦ 在支診(麻酔科)
- ⑧ 在支診(一般内科)
- ⑨ 在支診(呼吸器)

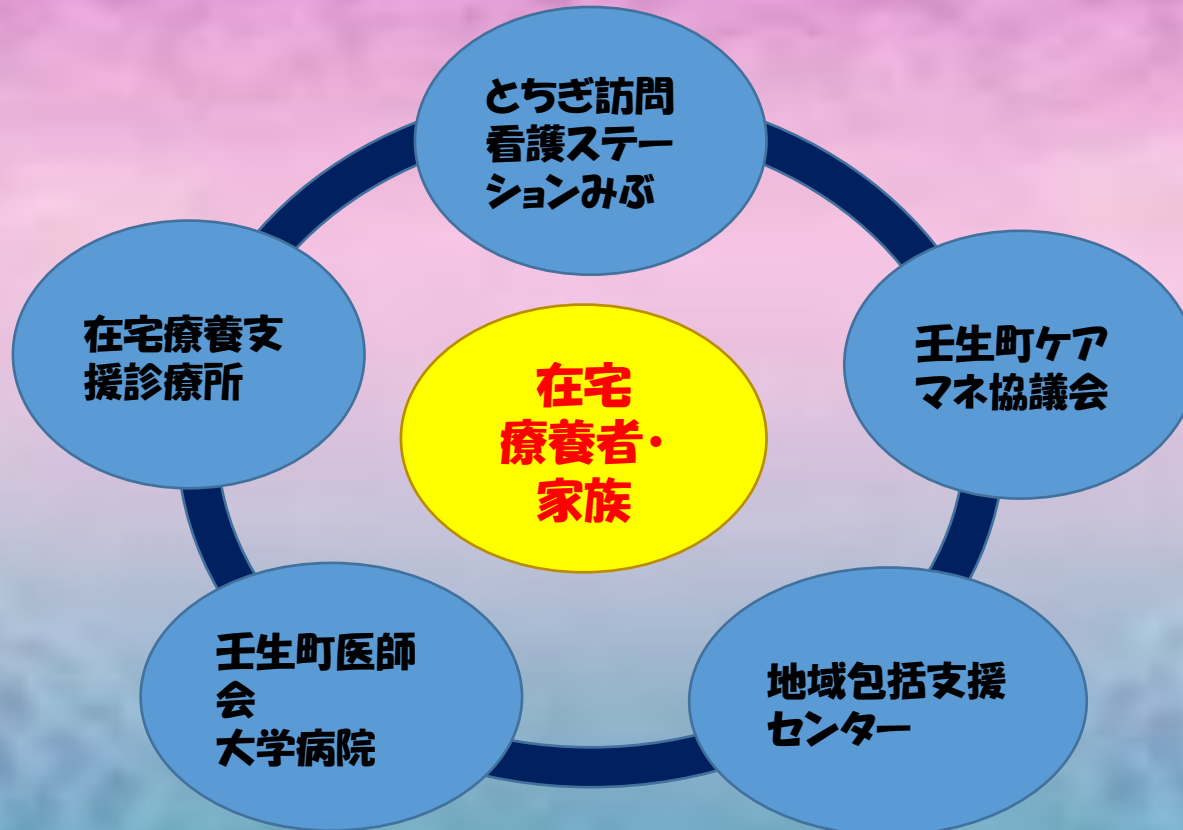
患者・家族

看護

大学病院

歯科・皮膚科・整形外科

壬生町在宅療養支援者の会とは



多職種連携の必要性と効果

- 1・それぞれの患者、家族に即したチームを作り上げ、在宅療養患者の家族の身体的・精神的・社会的な問題や様々なニーズに早く対応し、健康やQOLの維持向上に努める。
- 2・多職種間で知識と技術を分かち合うことにより、各専門性に求められているものが明確になり、その結果、各職種の専門性を強化することになる。

3・患者や家族に必要なケアや地域に必要なシステムなどについて気づく。

4・在宅ケアに関わる仕事をより豊かで興味深いものにする。

5・チームで関わり支援していることを患者、家族に返すことにとり、安心、信頼を得ることができる

平成24年6月から在宅医療連携拠点 事業所 となってからの変化

- ◆MSW,ケアマネの資格を持った訪問看護師及び事務担当職員が増えた。(事務局)
- ◆2~3ヶ月に1回の集まりが毎月となった。
- ◆より多業種の関係者が集合するようになった。

◆多業種の在宅医療に関する話が聞けるようになった。

◆交通費が出るようになった。

◆在宅療養支援者の会を「みぶの会」と呼ぶようになった。

◆僧侶の講演



「どこでも連絡帳」 運用の実際

公益社団法人 栃木県看護協会

とちぎ訪問看護ステーションみぶ

所長 藤田 みかる

<事例を通しての利点>

事例1

褥瘡、下腿壊死、熱傷、皮膚の炎症等の写真をアップしコメントする



- * 一目瞭然！主治医からの軟膏処方や処置の指示が早い
- * 多職種が共有している為それぞれの訪問に合わせ処置や対応が統一でき安心
- * スタッフ間でも、いろいろな意見が活発に出るようになった



3/28日(金)午後3時3分 · 4人了解!

ますね。よかったです。やはり、中央部が

3/27日(木)午後6時20分 · 4人了解!

ました。不良肉芽が少なくなり出血もあ
りて良くなっています。



3/18日(火)午後7時41分 · 6人了解!

うございます。処置法をお母さんに説明し

3/18日(火)午後7時15分 · 7人取消

は炎症なくいいよとのことですが、創部
しでゲーベンを使用してみようというこ

支援専門員 (ケアマネジャー)
3/17日(月)午前12時15分 · 5人了解!



事例2

がん終末期の看護



* 多職種それぞれの目線でリアルタイムに本人、家族の状態を知ることができ看護の質が向上した

* 後方病院の主治医も参加することで詳しく在宅療養中のことがわかり、入院初日から個別性のある対応ができる



* 在宅看取り後、多職種間でのデスカンファレンス的なものが、それぞれの時間を束縛することなくでき振り返ることで看護師の達成感につながった

* 利用者を中心とした多職種とのコミュニケーションが深まることでチーム力が増す



「最強の在宅ケアチーム」

<活用にあたっての重要 ポイント>



* 顔の見える信頼関係が基礎にあることが大切

* 緊急であるか、どうかを見極めて連絡の手段を考える

* 基本的に毎日、自分のパスワードで「どこでも連絡帳」を開くこと



月例会による顔の見える関係構築 ICT活用による情報共有促進

壬生町の取り組み

多職種が集う月例会「みぶの会」
医療介護専用SNS「どこでも連絡帳」

ご清聴

ありがとうございました